

## 本郷中学校建替え工事に伴う設計業務委託

本設計業務委託にあたって、公募型簡易プロポーザルを実施し、設計者選定を行いました。

### ● 結果

#### 受託候補者：久米設計・白川設計設計共同企業体

(評価の理由)

校庭への日影の影響を抑えるため建物北側を3階建てとし、立面に特色を持たせた提案で、図書館を中心に据え、学年のまとまりを確保した教室の配置や、職員室からの視認性、配膳室への車両動線の確保等、学校運営にも配慮した提案が評価されました。また、脱炭素化、コスト縮減等についても具体的に密度濃く提案されていました。

ヒアリングでは、課題の捉え方や実現性についての説明、質疑への応答も的確で信頼感があり、総合的に高く評価されました。

次点者：隈研吾建築都市設計事務所・川喜田建築設計事務所設計共同企業体

### ● 委託業務の概要

#### 1 目的

本市の教育は、「横浜教育ビジョン 2030」（平成30年2月）を定め、「自ら学び社会とつながり共に未来を創る人」の育成を目指しています。この中で、施設整備にあたっては、豊かな教育環境を整える取り組みとして、学校施設の計画的な建替えや保全等を進め、子どもの安全・安心を確保し、地域とともに子どもをよりよく育む教育環境を整えて行くこととしています。

特に建替えに関しては、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」（平成29年）及び「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する計画・設計の考え方」（令和2年）を策定し、学校施設の効率的・効果的な建替えや財政負担の軽減の両立を図り、建替え事業を進めています。

本郷中学校は、既存の最も古い校舎が昭和36年に新築(築61年)され、その後増築・改修を重ね、平均築年数49.6年となっており、経年劣化による老朽化や敷地内及び校舎内のバリアフリー未対応による機能面などの課題があります。

そのため同校の敷地において建替えを行います。

#### 2 一連の業務委託契約（予定）

(1) 基本計画	契約締結日	から	令和5年 3月31日まで (今回)
(2) 基本設計	令和5年 4月頃	から	令和5年 9月頃まで (予定)
(3) 実施設計 (解体設計を含む)	令和5年 10月頃	から	令和7年 3月頃まで (予定)
(4) 工事監理	令和7年 10月頃	から	令和11年 8月頃まで (予定)

### ● 実施の経緯

令和4年 7月 7日(木)…第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会 (実施方法等の選定)

令和4年 7月 12日(火)…実施の公表

令和4年 7月 27日(水)…参加意向申出書の提出期限 (15者より申出)

令和3年 8月 25日(水)

…提案資格確認結果通知書・プロポーザル関係書類提出要請書の交付 (全者へ交付)

令和4年 8月 9日(火)…質問書の提出期限

令和4年 8月 19日(金)…回答書の送付

令和4年 9月 2日(金)…提案書の提出期限(14者より提出)

- ・株式会社新居千秋都市建築設計
- ・有限会社宮本建築設計事務所
- ・株式会社コンテンポラリーズ
- ・株式会社金子設計
- ・株式会社山本理顕設計工場
- ・綜企画・ダン総合設計共同企業体
- ・株式会社日生建築計画研究所
- ・株式会社ケー・アール建築研究所
- ・中村太一・榎本裕亮／NEA一級建築士事務所
- ・隈研吾建築都市設計事務所・川喜田建築設計事務所設計共同企業体
- ・高橋・コア設計共同企業体
- ・株式会社国設計
- ・久米設計・白川設計設計共同企業体
- ・株式会社第三設計連合

令和4年 9月 30日(金)…一次評価検討会

令和4年 10月 6日(木)…第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会(二次評価対象者の選定)

- ・株式会社日生建築計画研究所
- ・隈研吾建築都市設計事務所・川喜田建築設計事務所設計共同企業体
- ・高橋・コア設計共同企業体
- ・久米設計・白川設計設計共同企業体
- ・株式会社第三設計連合

令和4年 10月 14日(金)…一次審査結果通知書又は選定結果通知書の送付

令和4年 10月 26日(水)…二次評価検討会

令和4年 11月 2日(水)…第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会(受託候補者等の特定)

● 評価検討会委員

東洋大学名誉教授 長澤 悟 先生

建築局公共建築部長

建築局公共建築部学校整備課長

教育委員会事務局施設部教育施設課担当課長

教育委員会事務局施設部教育施設課担当課長

● 提案書の内容

1 提案項目

「2 提案書作成上の計画条件」を前提とし、「教育環境の向上」、「環境への配慮」、「施設の長寿命化」に配慮しつつ、コスト縮減の視点を念頭に下記の項目について提案してください。

### (1) 施設計画の考え方についての提案

近隣環境と、学校全体の運営や生徒及び学校関係者の動線の効率性、安全性、利便性に配慮するとともに、良好な学習環境を実現するための施設計画の考え方についての提案

### (2) 「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（令和3年6月8日施行）」を踏まえた、環境負荷低減及び省エネルギー等の考え方についての提案

ア 省エネルギー化や再生可能エネルギー等の導入など環境負荷低減策についての提案

イ 「横浜市建築物における木材の利用の促進に関する方針」を踏まえ、施設の特性を考慮した、効果的な木材の活用方法などの提案

### (3) (1)、(2)を踏まえた、コスト縮減の考え方についての提案

ア 効率的な計画による床面積減に伴うイニシャルコスト縮減の考え方

イ 構造計画の工夫による躯体費減等に伴うイニシャルコスト縮減の考え方

ウ その他イニシャルコスト及びライフサイクルコストの縮減に向けた具体的方策

### (4) 工事中の安全・学校運営への配慮についての提案

ア 工事中の生徒の安全配慮、工事車両との動線の分離

イ 工事期間の短縮及び運動スペースの継続的な確保など学校運営への配慮

### (5) 業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

ア 報告書及び図面等の成果物の品質向上を図るための方法

イ 積算数量の拾い忘れや違算を防止し、精度向上を図るための方法

ウ BIMの具体的な活用方法

エ スケジュールの組立て方や管理方法、工事監理体制などの業務の進め方

オ 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制

## 2 提案書作成上の計画条件

提案書を作成するにあたり、次のとおり計画条件を設定します。

なお、計画条件は、契約後の設計委託業務の与条件とは異なる場合があり、設計委託業務は、提案書の内容にかかわらず、契約後に提示する与条件に基づき行います。

### (1) 計画概要

校舎棟及び体育館建設予定エリアに校舎棟及び体育館を新築し、表1「整備概要」のとおり再整備します。

ア 生徒及び教職員が安全安心を実感でき、利用しやすい中学校

- ・効率的で明確な動線とし、バリアフリー化を含め、生徒が安全に移動できる計画とします。特に、集会開催時や災害発生時等に、生徒が一斉に移動する際、事故や混乱がないよう配慮します。

- ・校内への不審者進入防止や生徒の安全確保の観点から、教職員が生徒に目が届きやすくするため、建物内や敷地内で死角を作らないよう配慮します。

- ・働きやすい環境として、教職員同士がコミュニケーションを取りやすく、また、効率的な学校運営がしやすいよう配慮します。

- ・グラウンドは現状と同程度(8,900㎡)を計画し、サッカーコート(65m×110m)を確保する配置とします。また、既存樹木については極力残すように配慮するものとします。

- ・緑化面積は敷地面積の20%以上必要ですが、イニシャルコスト・維持管理コストの低減を考慮し、地上での緑化を優先します。

- ・プールへの外部からの視線などに配慮して生徒のプライバシーの侵害防止策を図ります。

イ 自然エネルギーなど環境等に配慮した中学校

- ・通風、採光を確保し、自然エネルギーの利用や、環境への負荷低減を図ります。

- ・「横浜市の建築物における木材の利用の促進に関する方針」に基づき、イニシャルコスト・維持管理コストに配慮したうえで、木質化を図ります。

ウ コスト縮減、施設の長寿命化に配慮した中学校

- ・教育活動に必要な機能を確保しつつ、イニシャルコスト・維持管理コストの縮減を図ります。

エ 工事中の安全・学校運営への配慮

- ・工事中は同一敷地内で学校運営を行うため、生徒及び教職員の安全性に十分配慮した、工程計画及び仮設計画とします。
- ・体育館、グラウンド等の閉鎖期間を短期間とするなど、工事中の学校運営にできるだけ支障がないような工程計画及び仮設計画とします。

表1 「整備概要」

棟名	校舎棟 ※体育館を含む
延べ面積	約 6,500 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造（予定） ※体育館は鉄骨造（予定）
階数	地上4階（予定） ※体育館は地上2階部分（予定）
所要室	「表2 所要室一覧」参照
備考	既存の武道場（プール）を残して一体的な利用が行えるものとする

(2) 敷地概要

ア 所在地

栄区桂町 84 番地 14

イ 敷地面積

約 19,580 m<sup>2</sup>

ウ 用途地域等

第1種住居地域、準住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）、準防火地域、  
第4種高度地区、緑化地域

エ その他

防災関連情報等は横浜市行政地図情報提供システムを参照してください。

(3) 既存棟概要

名称	構造	階数	延べ面積約(m <sup>2</sup> )	建築年
校舎棟	鉄筋コンクリート造	地上4階	6,000	昭和36年
体育館	鉄骨造	地上2階	660	昭和48年
武道場（プール）	鉄筋コンクリート造	地上2階	790	昭和60年

※既存棟概要の施設には付帯施設は含みません。

※武道場（プール）は、既存施設を引き続き利用します。

(4) 概算工事費

約 36 億円（税込）

※既存校舎及び体育館等解体費、アスベスト撤去費、新築工事費、既存棟の改修及び校地整備にかかる工事費を含みます

※概算工事費は、基本構想資料を参考としたものであり、確定した金額ではなくさらなるコスト削減を目指しています。

表2 所要室一覧

種別	室名		整備後（予定）	
			CR数 <sup>※1</sup> (64 m <sup>2</sup> /CR)	面積 (m <sup>2</sup> )
教室 <sup>※2</sup>	1	普通教室	10.0	640.0
	2	個別支援教室	2.0	128.0
	3	特別支援教室	1.0	64.0
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0
	5	音楽教室	2.0	128.0
	6	家庭科教室	3.5	224.0
	7	技術教室	2.5	160.0
	8	美術教室	2.0	128.0
	9	図書室	2.5	160.0
	10	教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0
	11	特別活動室	0.5	32.0
多目的室	12	進路指導室	0.5	32.0
	13	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0
	14	多目的室(少人数指導)	3.0	192.0
管理諸室	15	多目的室(学校指定)	3.0	192.0
	16	校長室	0.5	32.0
	17	職員室	2.5	160.0
	18	事務室 <sup>※2</sup>	0.5	32.0
	19	保健室 <sup>※2</sup>	1.0	64.0
	20	保健相談室・教材教具室 <sup>※2</sup>	0.5	32.0
	21	放送・スタジオ室	0.5	32.0
	22	会議室	1.0	64.0
	23	印刷室	0.5	32.0
	24	職員更衣室	0.5	32.0
	25	技術員室・湯沸室	0.5	32.0
	26	休養室	0.5	32.0
	27	職員・来校者玄関	0.5	32.0
	28	変電室	1.0	64.0
	29	倉庫	0.5	32.0
その他	30	中学校給食配膳室	0.5	32.0
	31	PTA 会議室	0.5	32.0
	32	地域交流室	0.5	32.0
	33	生徒更衣室	1.5	96.0
	34	昇降口	1.0	64.0
	35	EV <sup>※3</sup>		1基
	36	体育館（アリーナ面積） <sup>※4</sup>		720.0
	37	共用部（トイレ・廊下・階段等）		適宜
	38	防災備蓄倉庫 <sup>※5</sup>		適宜
	39	屋外付帯施設 <sup>※6</sup>		適宜

- ※1 1CR=8m×8m=64㎡
- ※2 保健室、保健相談室、事務室、技術員室などは管理諸室と連携しやすい配置とします。
- ※3 エレベーターは11人乗りとし、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び「横浜市福祉のまちづくり条例」を遵守します。
- ※4 体育館には、コントロール室、更衣室等附帯施設（面積適宜）を配置します。
- ※5 浸水想定区域であることを踏まえ、1か所は体育館に近接して2階に配置します。また、1か所はグラウンドに近接して配置します。
- ※6 屋外付帯施設は保管庫、倉庫等を配置します。